

津山松平家分家資料受贈記念 松戸市戸定歴史館 企画展 「松平男爵家の軌跡―将軍とプリンスの子孫たちの近代」

松戸市戸定歴史館では、10月5日(土)から企画展「松平男爵家の軌跡―将軍とプリンスの子孫たちの近代」を開催します。今回の展示資料は、平成30年(2018年)、戸定邸の主であった徳川昭武の子孫にあたる津山松平家分家の御当主から将来的な寄贈を前提としてお預かりし、6年にわたって調査を進めてきたもので、新出資料や、世界でも数点しか確認されていない貴重な品を含みます。今回、受贈記念展として資料を初公開し、津山松平家分家の誕生前夜から現代までの歩みをご紹介します展覧会を開催します。

●**展示会名称** 松平男爵家の軌跡―将軍とプリンスの子孫たちの近代

●**会 期** 令和6年10月5日(土)～12月27日(金)

●**展 示 概 要**

津山松平家分家は、徳川将軍家につながる家柄で、最後の将軍・徳川慶喜とかつてのプリンストクガワ・徳川昭武の娘たちの嫁ぎ先でもあったことから、将軍家やそれぞれの家ゆかりの品が伝わったものと推察されます。

今回の展覧会では、時系列に章立て、津山松平家に11代将軍・徳川家齊の子である齊民が養子に入ったところから、齊民の隠居、息子の代での分家と授爵、初代と2代の当主がそれぞれ植物や政治学の専門家となったことなどの各世代の事績をたどりながら、家と当主、その家族の歴史をご紹介します。

●**章 構 成**

プロローグ 津山松平家とは

第1章 「御曹司」齊民の幕末維新～将軍家齊の息子として～

第2章 齊民の隠居暮らし

第3章 男爵家の誕生～初代 齊・浪子夫妻

第4章 慶喜と昭武～初代 齊夫人浪子と2代 齊光夫人直子の父

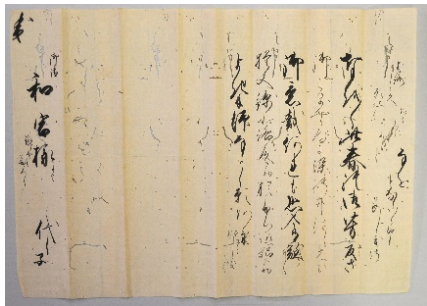
第5章 パリの男爵夫妻～2代 齊光・直子夫妻

エピローグ その後の松平家

●展 示 数 約 180 点（予定／会期中、一部入れ替えあり） ※全点、初公開

●受贈資料について 古文書、古写真、書画工芸など 2,281 件

●展示予定品 抜粋



徳川慶喜夫人・美賀子の書簡
（和宮宛）
縦 32.5 cm×横 45.3 cm



村梨子地葵・牡丹文二
葉葵唐草蒔絵化粧香合
径 6 cm×高さ 5.3 cm



徳川慶喜の葬儀の写真
※これまで確認されていない
大判の写真群
縦 21.1 cm×横 27 cm

展示予定品は、静寛院宮（せいかんいんのみや／江戸幕府Ⅰ4代将軍徳川家茂夫人・和宮）から徳川慶喜夫人美賀子に宛てた書簡や、新発見の徳川慶喜の葬儀の記録写真、銀と水晶で作られた豪華な懐紙入れなどが見どころです。

中でも、注目したいのは、天璋院（てんしょういん／江戸幕府Ⅰ3代将軍徳川家定夫人・敬子＝篤姫）の婚礼調度だった化粧香合※です。この婚礼調度は、徳川家の三つ葉葵紋、近衛家の牡丹紋（近衛牡丹）、二葉葵の唐草文様が施されているのが特徴で、世界で5例、日本国内では4例目となる新発見資料で大変貴重な品であることが、今回調査を進める中で判明しました。※化粧香合とは…化粧品を入れておく容器。

●施設概要

住 所 松戸市松戸7-14-1

入館時間 9時30分～16時30分（17時閉館）

休 館 日 月曜日（休館となる日が祝日にあたるときは翌平日休館）

入 館 料 一般150円、高校・大学生100円

※戸定歴史館との共通入館券は一般320円、高大生160円

※中学生以下無料

※障がい者手帳をお持ちの方と同行者1名無料

※20名以上の団体、市内在住の70歳以上の方は団体割引料金適用

電話番号 047-362-2050（戸定歴史館）



■戸定邸とは…明治時代の徳川家の住まいがほぼ完全に残る
 全国で唯一の建物です。建物は国の重要文化財、旧徳川昭武庭
 園（戸定邸庭園）は国の名勝に指定されています。



■戸定歴史館とは…戸定邸を建てた徳川昭武と松戸徳川家に
 関する資料を収集・保存・調査研究・公開する歴史博物館。平成 3 年
 （1991 年）開館。登録博物館。展示は年 3 回の入替制。

【本件に関する問い合わせ先】

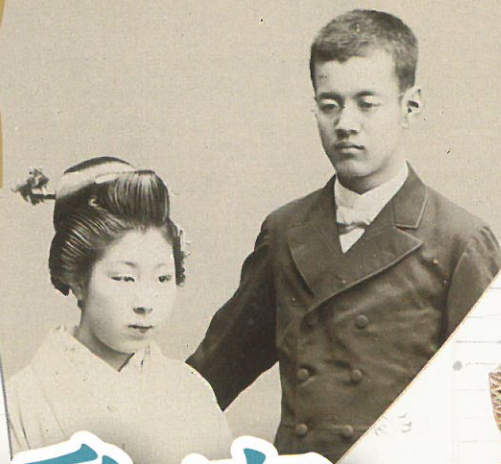
〒271-0092 千葉県松戸市松戸 714-1

松戸市教育委員会生涯学習部文化財保存活用課戸定歴史館

☎047-362-2050 FAX047-361-0056

✉ mctojourekishi@city.matsudo.chiba.jp

津山松平家分家
資料受贈記念
企画展



松平男爵家の軌跡

会 期

2024年

10/5^土 ~ 12/27^金

—将軍とプリンスの
子孫たちの近代—



松戸市戸定歴史館

松平男爵家の軌跡

—将軍とプリンスの子孫たちの近代—

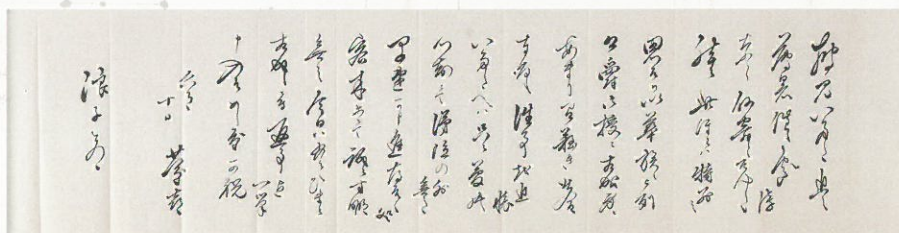
津山松平家分家は、徳川家康の2男・秀康の子孫である津山松平家から、明治21年(1888)に分かれた男爵家です。

11代将軍家齊の孫にあたる初代当主・齊(1874-96)は、東京帝国大学で植物学を専攻しました。夫人は、15代将軍慶喜(1837-1913)の7女浪子(1880-1954)です。2代当主・齊光(1897-1979)は、パリ大学で文学博士号を、東京大学で法学博士号を取得し、東京都立大学・明治大学・東海大学で教鞭をとった政治学者です。彼を支えた夫人の直子(1900-89)は、「プリンス・トクガワ」と呼ばれた戸定邸の主、徳川昭武(1853-1910)の3女で、松戸徳川家と深いつながりがあります。

本展では、初公開となる同家伝来資料から約180点を選び、初代当主の父・松平齊民(1814-91)や、歴代当主の義父にあたる慶喜や昭武の関連資料とともに、「将軍とプリンス」の子孫たちの歩みをご紹介します。



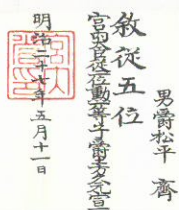
村梨子地葵・牡丹文二葉葵唐草蒔絵化粧香合
(13代将軍家定夫人天璋院敬子婚礼調度、
後に初代当主齊夫人浪子婚礼調度に転用)



明治35年(1902)6月10日付松平浪子宛徳川慶喜書簡(公爵授爵の所感)



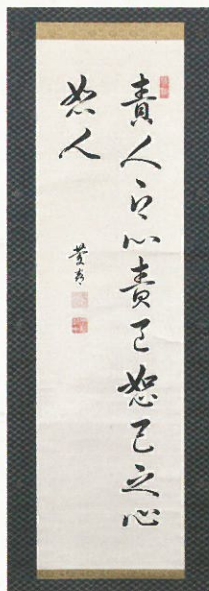
「御葬列 ハ 御柩」(徳川慶喜葬儀写真)



位記
(男爵松平齊 叙従五位)



「久・誠・精 遊戯銃」
徳川慶喜撮影



徳川慶喜「責人の心
責己恕己之心恕人」



徳川慶喜夫人美賀子宛
親子内親王(和宮、徳川家茂夫人)消息



位記
(従四位男爵松平齊光 叙正四位)



水晶製梅彫刻付梅軍配文
銀製懐紙入

松戸市戸定歴史館 TOJO MUSEUM OF HISTORY

入館時間 午前9時30分～午後4時30分(午後5時閉館)
休館日 毎週月曜日(祝日の場合は開館し、翌平日休館)
入館料 歴史館・戸定邸共通入館券／一般320円、



高大生160円など
中学生以下・障がい者手帳をお持ちの方と同行者1名無料
団体(20名以上)・市内在住の70歳以上の方は団体料金適用



〒271-0092 松戸市松戸714-1 TEL. 047-362-2050

JR・新京成線 松戸駅東口下車徒歩約10分